

鶴見川を歩こう その1

開催日：2025年10月18日（土） 晴れ 歩数：28000歩 距離：18km

出発：JR鶴見駅東口改札 10時

コース：鶴見駅→東口駅前通り公園→鶴見神社→森永橋→下末吉公園→末吉橋→大曲広場→キンモクセイの並木～新幹線ガード下→大綱橋のガード下→新羽橋→太尾公園→ワールドカップ大橋→新横浜公園→鴨池人道橋下河川敷→鴨居駅

参加者：熊坂L 亀田SL 勅使河原 常盤 平石 齊藤優 河野 山内 清水 井内 福士 市村 丹後 桑原 奥村 山田 滝川 脇坂 飯田 山口 川合 松本 大城 沼津 大幡 佐藤し 尾形 白田 高橋昇 計29名

鶴見川は、東京都町田市小山田が源流です。雑木林の一角に位置する、日量1300トンの湧水量で、多摩丘陵・下末吉台地を下って横浜市鶴見区生麦で東京湾に注ぎます。源流から河口の生麦まで42.5km。フルマラソンより少し長い距離です。

鶴見川を鶴見川橋から源流まで3回に分けて歩くシリーズです。1回目は、鶴見川右岸を鶴見川橋から鴨池人道橋まで歩きました。カヌーを楽しむ人々、オレンジ色の花が丁度見ごろのキンモクセイの並木、水面に生息するダイサギなどの水鳥、河川敷で週末をくつろぐ人々、見どころ一杯の晴天に恵まれたサクサクウォーキング、歩数2万8000歩、歩行距離18kmでした。



JR鶴見駅～東口駅前通り公園～鶴見神社

集合はJR鶴見駅、出発時間の10時前に全員集合したので10分ほど早くスタート。東口へ出て東口駅前通り公園へ、ストレッチをして熊坂リーダーがコース説明、隣は亀田サブリーダー。10時10分に公園を出て北へ向かって歩き、鶴見七福神巡り(2020年1月11日)で訪れたことがある鶴見神社へ。獅子山の上の荒々しいつくりの狛犬が出迎えてくれました。向かって右側の阿形(あぎょう)は左前脚で手毬を押さえています、左側は吽形(うんぎょう)。まずは本殿で、この日の安全ウォーキングを祈願しました。境内右側には、稲荷社や大鳥神社、秋葉神社などが祀られていました。



アーチ状橋梁の鶴見川橋 10時25分～「バク」の案内板

境内横から出て鶴見川橋をめざします。鶴見上町のバス停を通過、青空に映えるアーチ状橋梁の鶴見川橋が見えてきました。鶴見川の河口は鶴見川橋より下流ですが、ここが「鶴見川を歩こう」のスタート地点、橋上に並んでいただき写真を撮影。10時25分、源流めざして右岸堤をスタート、ここからしばらくは北西方向へ進みます。5分ほど歩いて堤を下り、東海道線・京浜東北線のガード下を通り再び堤に上がります。「バク」の案内板あり、「降った雨が水系に流れ込む範囲を流域といいます。鶴見川水系の流域面積は235㎡。その外形はバクという動物の姿に似ている」と書かれています。左前方に森永工場が見えてきました。



河口から4km地点～森永橋～10時50分 下末吉公園

5人乗りのカヌーが2艇、上流と下流へ滑るように進んでいます。対岸の白い2階建ての建物の1階部分にカヌーが保管されています。建物の前の大きなクレーン車でカヌーを川面に降ろすようです。社会人の人が多いのでしょうか、9人乗りや1人乗りの艇も走っています。鶴見川でカヌーが楽しまれていることをはじめて知りました。10時41分、河口から4km地点を通過。標柱の上の方が鶴見川水系の流域面積を表すバクの図柄になっています。その少し先に森永橋がありました。新鶴見橋が架かる国道1号を横切りさらに上流へ進みます。10時50分、堤から左に入り下末吉公園へ、木陰で水分補給と小休憩です。



下末吉公園～末吉橋～11時40分 大曲広場（昼食タイム）

公園を出て、河口から5.0km地点を通過。鉄骨造りの人道橋があり自転車も渡っていました。環状2号線に架かる末吉橋は大規模な架け替え工事中、堤を直進できないため左へ迂回して横断歩道を渡り上流へ。澄んだ青い空に白い雲、快調なピッチで上流へ歩きます。河口から7.0km地点を通過、小休憩した下末吉公園から2km以上歩いて来ました。鷹野大橋を通過して11時40分、子どもたちが遊んでいる大曲広場へ。堤を下りて女性グループは石段のところで昼食タイム。日差しを避けて木陰で昼食をとるグループもありました。青い空の下、すがすがしい空気の下での昼食は格別に美味しいです。



大曲広場12時10分～キンモクセイの並木～新幹線ガード下

12時10分、広場を出て再び堤の上を、ここからは西方向へ歩きます。舗装された道に毛虫が一匹、無事横断できたでしょうか。10分ほど歩いてイオン駒岡店で小休憩、商店街を通り樽綱橋へ出て堤の上を進んでいくとキンモクセイの並木が見えてきました。香りが強く、キンモクセイの開花時期は9月から10月ごろということで、オレンジ色の花は丁度見ごろでした。熊坂リーダーがキンモクセイを背景に集合写真を撮影、綺麗な写真が撮れたでしょうか。キンモクセイを楽しんで進んでいくと東海道新幹線が見えてきて、河口から8.5km地点を通過。ガード下を抜けてきたグループをパチリ、後ろには青空が広がっています。



大綱橋のガード下～新羽橋～太尾公園～河口から12km地点

東急新横浜線大綱橋のガード下へ、大綱橋の命名は大倉駅と綱島駅の間の橋だからでしょうか。東急新横浜線と並行して走っている東急東横線のガード下も通過。心地よい風が出てきてススキが風に揺れています。川が大きく左にカーブして、ここからは南方向へ川が蛇行しています。新羽橋の下へ、日陰の石堤に腰かけて小休憩です。少し進んで河川敷を上がって歩いて行くと前方に新横浜駅周辺のビル群が見え始めました。景観の良い高台の太尾公園へ上り、トイレ休憩をしました。上ってきた道を下りて、新横浜駅方面をめざして進みます。河口から12km地点を通過しました。



烏山川沿い～ワールドカップ大橋～新横浜公園

新横浜駅周辺のビル群を前方に見ながら南へ進み、まだまだ快調なピッチで河口から12.5km地点を通過。鶴見川は右へ大きく蛇行、ここからは鶴見川を少し離れて支流の烏山川沿いを歩きます。烏山川に架かるワールドカップ大橋を渡って西へ進み、日産スタジアム敷地内を通り抜けます。スタジアムに隣接する広大な新横浜公園へ、公園というより原っぱという感じ、歩いて来た後ろには大きな日産スタジアムが見えます。鶴見川は、公園の北側を西から東へ流れています。時刻は14時45分、トイレも併設されている管理棟の前の椅子に座り休憩タイムです。少し曇ってきて涼しくなり秋の気配を感じるようになりました。



ゆったり休憩タイム 15時15分～再び鶴見川右岸へ

20分のゆったり休憩タイムをとって15時5分にスタート、公園内の道を西へ長い列になって歩いて行きます。みなさん、芝の感触を楽しんでいるのか、舗装道路を外れてショートカットで歩いています。淡い紫色の花を咲かせたコキアが風に揺らいでいました。公園を出て、再び鶴見川右岸を歩いて行くと高速道路の下あたりでしょうか、以前訪れたことのある崎陽軒の工場が見えてきました。



前方に小机城址～河口から15.5km 地点～桜並木の堤道

左側前方に小高い丘、小机城址です。15時30分、河口から15.5km地点を通過。少し進んで小休憩です。川の流れの中に、ダイサギがじっと川面を睨んで餌を狙っています。鶴見川とJR横浜線が並行するようになり、新川橋下を通過。民族衣装でしょうかカラフルな衣装の外国人が集まっていました。川と反対側の運動場では、少年たちがサッカーを楽しんでいます。少し進むと今度は柿園が広がっていて、柿の出荷作業中でした。「鶴見川歩こうその1」のゴール地点の鴨池橋が、上流の方に見えるようになりました。春には絶好の花見の場所になるのでしょうか、桜並木の堤道を歩いて行きます。



16時15分 鴨池人道橋下河川敷 歩数2万8000歩

16時15分、堤の石段を下りて鴨池人道橋下河川敷に到着。橋桁に「河口から18.1km」と書かれています。河川敷石畳の広場でクールダウン、歩数2万8000歩、歩行距離18kmの晴天に恵まれた「鶴見川を歩こう その1」でした。次回集合駅の鴨井駅で解散です。



(市村記)